

金山町 議会だより

第194号

平成28年8月9日

発行 金山町議会

編集 議会だより編集特別委員会

〒968-0011

福島県大沼郡金山町大字川口字谷地393

☎ 0241-54-5341



豪雨災害から5年 多くの町民が参加した 防災講演会
講師に福島県の渡邊氏と南場氏（写真は渡邊防災専門監）

〔6月定例会のあらまし 会期／6月10日～14日〕

(ページ)

6月定例会 町長の給与減額条例可決……………2～3

臨時議会 2議案否決、議案等審議結果一覧 ……4～6

一般質問に7人登壇……………7～13



7月8日に竣工検査が終わり、新装なった“せせらぎ荘”ロビーの様子
町長が、工期再延長の監督責任を取る原因となった建物。今後は、町民を始め多くの人に利用される施設運営が望まれる

6月定例会

町長の給与3割カット

せせらぎ荘工事遅れの

責任とる

6月定例会は、6月10日から14日にかけて開催され、一般会計補正予算など8議案と、報告4件、議員提出議案1件が提案され、原案の通り可決されました。議案には、せせらぎ荘改築工事がたびたび工期延長になり27年度事業の完成が遅れた監督責任を町長が取るための議案が含まれています。一般質問には、7人が登壇し町政をただしました。

給与減額条例（議案審議）

再延期の 監督責任

町長 国民保養センター
せせらぎ荘改築工事に関し、本年3月の工期を6

月10日まで延長しましたが、今般再度の工期の延長が必要になったことは、私の管理監督が行き届かなかったもので、その責任を

明らかにするものです。

総務課長 内容は、平成28年7月に支給する給料の月額30%を減額するものです。

ペナルティーは 再発防止策は

問 施工業者に対するペナルティーはどのように

なっているか。工期を守るための再発防止策、どのように考えているか。

答 町長 私の監督不行き届き、これは当然でありますが、施工業者に対して、1カ月間の指名停止という扱いをしたところなんです。なお、これらの工期の設定等については、設定工期というものはありますが、その中でも、季節や資材の調達等、様々な事案がありま

す。そういうものをしつかりと精査した上で、工期の設定を慎重に、しかも無理のない、いわゆる労災事故等の発生しないような、工程を設定工期として定めます。

職員の不祥事 その責任は

問 今回、工期の再延長、これも重大な出来事です
が、それよりも新聞報道になつた職員の不祥事、こちらについての責任のほう
が、私は、一般的により重
いのではないかと思いま
すが、その辺の見解は。

答 副町長 職員の不祥事、管理監督責任、本当に反省をしています。町長始め、私も、担当課長も、皆、今後しっかりと取り組んでいかなければならないと思つています。ただ、給与の減額措置というところまでするかということになりますと、他の自治体の事例とか、(金山町での)これまでの処分してきた内容とか、その辺と均衡を図らなければいけないと

いう部分がありますので、今回に関しての減額の条例につきましては、工期の遅れ1本に絞らせていただきます。

工期の延長(他工事) 同じ処分か

問 今後、工期の延長ということがあつた場合に、同じような処分を繰り返されるのか。

答 町長 今回の工期の延長については、一度工期を延長した中で、当然完

成するものと考えていたところ
が、再度の工期延長という事案が発生したので、これを重く受けとめて今回の処分ということにしました。

指名停止の 根拠は

問 施行業者に対してのペナルティーの関係ですが、1カ月の指名停止の根拠は。

答 建設課長 今回のペナルティーの期間は、町の指名停止の基準に沿い適

用しました。期間については他の自治体を例にして設定しています。工期延長について全てペナルティーを課するというような内容ではありません。あくまでも、町の意向に反し、一方的に施工業者から工期の延期があつたような場合についてはペナルティーを課するという内容です。

その他の議案審議

旧衛生処理組合の 水質検査しつかりと

問 旧衛生処理組合最終処分場水質検査は、27年度の調査結果に基づいた調査を要望する。4町村で取り扱いを協議しながら実施して欲しい。

答 住民課長 平成27年度の水質検査、以前からの項目35項目については基準値を超えるというようなことはないと記憶していますが、検査の結果にかかわらず、28年度も処分場のものが流出していない

熊本地震見舞金

「平成28年熊本地震」に対する災害見舞金として金山町議会議員互助会から、10万円を熊本県町村議会議長会へお送りしました。
熊本地震で亡くなられた方々に謹んで哀悼の意を捧げますとともに、被災された皆さまに心よりお見舞いを申し上げます。
被災地の一刻も早い復旧を心からお祈り申し上げます。

大型農業機械助成 機械の内容は

問 農業団体等支援事業、機械購入ということですが、どのような団体で、どのような機械を購入する希望があつたのか。

答 産業課総括主幹 集落営農組織、認定農家等の

申請に基づいて支援します。畦塗り機や田植え機、コンバインなどです。

宮崎遺跡の試掘 国道252号改良で

問 宮崎遺跡のための重機の借り上げ、調査した結果、どうする考えなのか。

答 教育次長 国道252号(広域消防から上田)を改良する予定で、そこが埋蔵文化財の宮崎遺跡になつています。改良箇所にかつて遺跡が出ないかどうかを調査します。調査した結果、何もなければ、そのまま改良計画の中で県が工事を実施しますが、何か

見つかった場合は、県文化財課に報告し、その処理について相談しながら進めます。

新規(中山間・多面的) 増えたのか

問 中山間地域等直接支払事業多面的機能支払事業の追加分について、新規加入地区で増えたのか、農地の水田、農道等の部分で増えたのか、それとも新たに畑地で該当地区が出てきたのか。

答 産業課総括主幹 中山間地域等直接支払事業は、越川地区が参加することになりました。多面的機能支払交付金事業は、大志・越川・三更地区が参加することになりました。今回加入された地区は、全て水田です。畑についても多面的機能の対象なのだから何とかならないかという質問ですが、畑については、補助金の対象となる面積の特定が非常に難しいので町内では取り組んでいませんが、要望がありましたら、検討します。



指定管理者（株会津かねやま）の指定を否決した瞬間

せせらぎ荘 指定管理者を否決 新しい風を期待

4月28日に開催された第2回臨時会では、専決処分承認と指定管理者の指定及び一般会計の補正予算の3議案が提案されましたが、専決処分の承認以外は、否決されました。可決された専決処分の承認についても賛成5人・反対4人の賛否が拮抗した可決でした。（各議員の賛否は、6ページに記載）

4月28日 第2回臨時会

指定管理（議案審議）

なぜ、指定管理者に 株会津かねやま

問 株会津かねやまは、様々な町の公の施設の指定管理を委託されている、この株会津かねやまを指定管理者とした狙いは。

答 町長 選考委員会の話を伺い、その意向を翻すような、内容も見当たりませんでした。一番、私が期待したのは、これから事業を展開していくノウハウだとか、そういうものをどちらが持っているかというのですが、私は「外部

の力を借りたいな」という気持ちもあったことも事実ですが、指定管理料（株会津かねやま800万円、猪苗代の業者1400万円）だとか、従業員のこれらの募集というような、内容をつぶさに聞き、オープンまでに十分準備ができるのかどうかなど総合的に判断しました。

問 株会津かねやまが申請に出した通常年度の運営費。一番問題は給料。料理人1人22万。社員賃金は7000円、（22日掛け）大体15万4000円、パート賃金で1人6500円の10名。若者がこういった

選考が、 拙速では

問 選考委員に対する審査書類。その日に配つ

て、その日に決めてもらう手法。それでいいのか。
答 総務課長 以前から当日に配付して、当日審議していただく形をとってきました。内容をわかりやすくするための資料の準備等を行い、当日に一日で方向性を出していただきました。

若者が働ける 希望する職場か

問 株会津かねやまが申請に出した通常年度の運営費。一番問題は給料。料理人1人22万。社員賃金は7000円、（22日掛け）大体15万4000円、パート賃金で1人6500円の10名。若者がこういった

給料で働けるのか。役場職員に準じたぐらいの積算ができるような、町の施設で働いてもらわないと、若者なんて来るわけない。
答 産業課長 若い人が確保できるかというと、なかなか難しいと思いますが、この中で株会津かねやまとしては運営したいということですので申請されたところでです。

29年度（来年度）から 指定管理にしては

問 工事の進捗状況、きのう見てきたが、突貫工事さされている。秋の開業まで私は非常に難しいと考える。今回提案された指定管理制度の導入については、少

なくとも今年度は町直営で、温泉のみ運営をして、29年度から指定管理者制度の導入でどうか。

答 産業課長 現在工事中のせせらぎ荘の進捗状況ですが、27年度工事は6月10日完成を見込んで、進行中です。28年度の工事は3件、4月21日に入札を実施しました。せせらぎ荘の駐車場周辺整備、浄化槽の設置、厨房の機器設置で、早期の完成（工期9月23日まで）を目指しています。

一般会計補正予算を否決

■補正予算（議案審議）

大塩温泉の 試掘に疑問

問 大塩の炭酸温泉を試掘する予算千数百万、日本一になるという話でしたが、掘ってみなければ出るか出ないかわからない。せせらぎ荘が間もなく完成するばかりというところで、またさらにその温泉に莫大なお金をかける。こんなにお金をどんどん使わないで、地道に、こつこつと丁寧な仕事をしていくべきと思う。

答 産業課長 27年度に調査をして、全国でも有数な遊離二酸化炭素を含む

成23年の豪雨災害のとき、その温泉が川底に出てきた関係もあり、大変ちまたで騒がれた。日本一の温泉が見込めるということなので、調査に対して反対はしない。

答 産業課長 掘削する際には、県へ掘削申請が必要で、大塩地区については温泉の準保護地域というところで、今掘ろうとしている半径一千メートル以内に源泉を持つている方からの同意が必要です。同意をもらう段階で親切丁寧な話をしながら進めていきたいと思いますが、試掘後のトラブルについては、町で誠意ある対応をすることを3つの源泉所有者に話をしながら進めていきます。

日本一の温泉に 期待

問 大塩地区の「温泉の権利」を持つている方の理解（同意は、当然温泉法の関係でいただかないと試掘に入れない。見込みはどうか。試掘する温泉は、大塩泉質的に良い温泉だ。平

町維持できるのか 財源が心配

問 熊本地震が発生して、特別交付税、大変だ。地方交付税、全部九州地方に行きますよ。金山町は下水道始め、スキー場等、維持管理費がかかるものばかり

です。これからどうやって維持していくのか。

ありません、有効な助成金、税金も先細りになります。それから、その辺り、交付金を見つけながら、財源を確保しながらやっていかなければと思っています。

せせらぎ荘 指定管理者決まる

(株)グッドスタッフ（本社 熊本県）

7月6日開催の第4回臨時会において、せせらぎ荘（玉梨温泉共同浴場含む）の指定管理に関する議案が提案され原案通り可決されました。指定管理は、7月10日から平成33年3月31日までの約5年間です。平成28年度の指定管理料は、約746万円です。

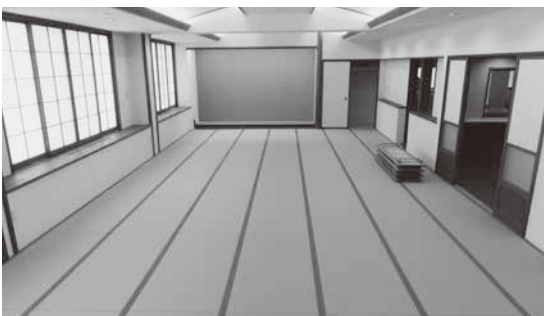
●せせらぎ荘の内部



▶大広間から入り口方面を望む。2階には休憩室



▶男子浴室の様子。右側が炭酸温泉



▶35畳と21畳に仕切ることができると大広間

■ 議案等審議結果一覧

※議長は、採決に加わりません（賛否が同数の場合には議長が採決します）

※賛成「○」 反対「×」

件 名	議決 結果	栗城 康太郎	青柳 ヨシ子	加藤 賢享	黒川 廣志	奥 高伸	横田 正敏	高橋 信彦	五ノ井 義一	馬場 清次
■ 第2回臨時会 平成28年4月28日開催										
専決処分に関する承認について	可決	○	○	×	×	○	×	○	×	○
指定管理者の指定について(株)会津かねやま	否決	○	×	×	×	○	×	×	×	—
※上記案件については、五ノ井清二議長が「除斥」したため、馬場清次副議長が、議長を務めました。そのため採決に加わりませんでした。										
平成28年度金山町一般会計補正予算(第2号)	否決	○	×	×	×	○	×	○	×	○
■ 第3回定例会(6月定例会) 平成28年6月開催										
金山町長等の給与及びその他の給付に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
金山町国民健康保険税条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度金山町一般会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度金山町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度金山町簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度金山町町営バス特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度金山町介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
財産の取得について(福祉バス)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
■ 第4回臨時会 平成28年7月6日開催										
指定管理者の指定について(株)グッドスタッフ	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度金山町一般会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
財産の取得について(デイサービスバス)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
財産の取得について(除雪ドーザー)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
■ 請願・陳情 (6月定例会で採択されました)										
国からの「被災児童生徒就学支援等事業交付金」による十分な就学支援を要請する意見書提出の請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○
■ 議員提出議案 (6月定例会で可決され関係機関に送付しました)										
国からの「被災児童生徒就学支援等事業交付金」による十分な就学支援を要請する意見書の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
■ 報告 (6月定例会で報告されました)										
平成27年度金山町繰越明許費繰越計算書の報告について										
会津若松地方土地開発公社経営状況報告について(平成28年度事業計画及び予算)										
会津若松地方土地開発公社経営状況報告について(平成27年度決算)										
株式会社奥会津金山大自然経営状況報告について										



手前が御神楽館
後ろの建物が老朽化した資料室



青柳ヨシ子議員の 一般質問

『御神楽館に冷房をつけて欲しい』

町財政を考慮し整備を考える

問 「御神楽館に冷房をつけて欲しい」と言う意見があります。冬は暖房があり大変喜ばれています。しかし、冷房が無いため冷房をつけて欲しいという意見があります。

答 教育長 議員ご指摘のとおり、御神楽館には冷房設備は整備されておらず、そのため暑い時期は利

用の少ないのが実態です。冷房設備を求める声があることも承知していますが、多額の費用がかかることが難点となっています。今後、安価に整備でき、維持管理費用も少額な設備を調査した上で、町財政の状況も見ながら整備の有無を検討していきます。

問 裏にある本名小学校の資料室が雨漏りや、また冬雪も落ちにくいので改修して欲しい。

答 教育長 資料室（特別教室）は老朽化が激しく、改修が必要な箇所が数多くありますが、改修には多額の費用がかかるので全面的な改修は考えていま

せん。しかし、現在の状況から取り壊しや改修の必要があると思いをしています。現在、特別教室は旧本名小学校で利用した様々なものの展示利用のみで、他は物置としてしか利用していません。展示物の中には貴重なものもありますので、貴重なものと

そうでないものを整理し保存する必要があると考えています。今後も特別教室は展示利用の他はないと思われしますので、本名地区や本名小学校関係者として十分に話し合い、展示物の移転により取り壊しをするか、一部改修するか、検討していきます。

『豪雨災害 復旧を急げ』

一刻も早く事業着手できるように県に協力する

問 新潟・福島豪雨災害復旧について。

問① 被害家屋の嵩上げなどの時期や地域について具体的な計画書を要求すべきと思うが。

答 町長 河川整備の具体的な計画書については、昨年度整備計画ができた時点で福島県と打ち合わせを行っています。着手時期については、被害の大きかった住宅地から着手し

たいという程度の大まかな内容で、地区との協議もあり、「県が一方的に計画を提示するわけにはいかない」という回答をもらっています。町内の施工箇所は14カ所と広範囲になります、地区ごとに優先順位をつけることはできません。また、住民の高齢化により対策も難しくなる可能性があります。町としては、一刻も早

く工事に着手できるように福島県に要請し、事業に協力していく考えです。

問② 農地についてはどうか。

答 町長 災害復旧工事は完了していますが、農地の災害対策については、農地の大部分に発電事業者の地上権が設定されており、それなりの補償を受けていますので、町民の安全を確保するため住宅地の

対策を優先し、その後に対策をすべきと考えています。

問③ 専従職員を配置する考えは。

答 町長 現時点では考えていませんが、今後、各地区の対策が具体的にいった時点で再考したいと考えています。



笠堀ダム改造（堤体嵩上げ）を視察
町議会産業建設常任委員会

黒川廣志議員の

一般質問



『老朽化したダムは安全か、水害対策にダムの改造を』

全国のダム発電関係市町村と一緒に要望していく

問 熊本地震で九州電力の水力発電所の貯水槽が損壊。大規模な土砂崩れが発生し、貯水槽直下集落を襲い住民2人が死亡した。利水ダム群が階段状に連続する只見川流域の我々も他人事ではない。

答 町長 ダムの安全については、4年前にも同様の話があり、各発電事業者に要請した経過がありま

問 電力会社に老朽化したダム群の緊急点検を申し入れたか。

答 町長 当町においては、この地震による被害がなかったため緊急点検の申し入れは行っていない。今後、国の動向や事故の因果関係が判明した段階で、点検の必要性があれば要請を行いたいと考えています。

問 老朽化したダム群の改造が必要だ。国、県、流域自治体、電力会社と協

『只見川河川整備事業実施に伴う専従職員の配置を』

各地区の対策が具体的に変わった時点で考える

問 熊本地震で盛土した場所で多くの住宅が倒壊した。金山町の整備地区は築堤か宅地嵩上げの計画で熊本地震は我が身にかかる。被災者の会で築堤が完成した只見町八木沢地区を視察した。完了には10年必要とのこと。

答 町長 熊本地震で盛土した場所では、4年前にも同様の話があり、各発電事業者に要請した経過がありま

問 昭和44年災害では町職員2名配置し、復旧にあたった。被災者も高齢化

答 町長 現在、福島県発注で各地区の測量及び概略設計を実施しています。成果品がまとまり次第、第2回目の地区説明会となりますが、9月ごろから始まるということで調整しています。なお、まだ説明会を実施していなかった川口地区は、今月（6月）15日に行う予定です。



▲築堤が完成した八木沢地区



日本の原風景とも言える
金山町の美しい景色



栗城康太郎議員の 一般質問

『観光行政について』

観光資源をさらに磨き上げます

問 町長は機会あるごとに、わが町には観光資源や観光素材になる有形無形の宝がたくさんあると述べておられます。それを踏まえ以下の4点について伺います。

問① 町の観光行政のビジョンは？

答 町長 金山に色濃く残る日本の原風景のような景色、四季折々の美しい自然、ここにしかない様々

な観光資源などの宝を生かし、単に通過型ではなく、訪れた方々が長時間滞在していただけるような観光行政を行っていきたいと考えています。

問② これからの観光行政の方向性は？

答 町長 町には国内でも非常に珍しい天然炭酸水や天然炭酸温泉、神秘の湖「沼沢湖」、多種多様な

温泉、山入地区にあるブナの原生林「癒しの森」など、様々な魅力あふれる観光資源がありますが、町外にはよく知られていない現状があるので、インターネット等による情報発信を積極的に進めています。また、実際に金山に来ていただいた方を失望させないよう、道の駅や観光物産協会など関係機関とも連携

しながら、観光資源をさらに磨き上げます。

問③ 俯瞰（ふかん）的な視野を持つ専門家の意見を取り入れていく考えはあるか？

答 町長 観光行政を進める上で専門家の意見が一つの重要なポイントだということです。十分承知していますので、事案ごとに検討していきます。

問④ 観光振興の進捗状況は？

答 町長 今年度新規に事業化した「雇用の場の確保」と「きれいな町づくり」をセットにした町景観整備事業については、現在、事業の実施に向け作業を進めています。その他の事業については、適時適切に事業が遂行できるよう進行管理に努めます。

『金山町のブランド戦略について』

金山町そのものをブランド化（一流の田舎）していく

問 地域再生のための地域ブランドに注目が集まっています。町のブランド戦略について、以下の3点を伺います。

問① 町のブランド戦略についてどう考えるか？

答 町長 私は個々の地域資源をブランド化することはもちろん大切ですが、金山町そのものをブラ

ンド化していくことが最も大切だと考えています。田舎には田舎の良さがあり、その良さを高め、誰からも「一流の田舎」と認められるよう町を築いていくことが町全体のブランド戦略には不可欠であると考えています。

問② ブランド化の対象は？

答 町長 町全体で見れば、日本の原風景とも言える美しい景色であると思います。また、町にはここにしかない天然炭酸水・温泉や品質が高く特色ある赤カボチャ、エゴマ、アザキ大根、ヒメマスなどの有望な地域資源があります。

問③ 地域ブランドの確立における企業との関係

は？

答 町長 最近さまざまな企業が町の地域資源や農産物に興味を持ち、金山町と提携したいと接触してくるようになりました。町の方針に合致する企業を慎重に選び、その企業とのさらなる交流や連携を進めていきたいと考えています。



44haの広大な面積がある上野原農地
カスミソウ、そば、赤カボチャ、アスパラ等作付

横田正敏議員の 一般質問



『かせえで暮らすべえ金山町』の実現に向けて

引き続き検討していく

問 町総合戦略の基本目標の一つである「かせえで暮らすべえ金山町」を実現させるためには、第一次産業の振興と6次化の推進を図らなければならぬのは言うまでもない。耕作放棄地を解消し、農地を有効に活用できる農業振興をどのように進めていくのか伺う。

答 町長 上野原農地は約44haあり、そのうち約30haにソバ、花卉、野菜等が栽培されていますが、残りの約14haについては10年近く入植者がいなかったため、カヤ等が繁茂し耕作放棄地の状態になっています。また、入植者の高齢化も進行している状況です。今後は現在入植されている農家の方々と話し合いを持つとともに、町で設置している金山町県営上野原地区営農推進協議会へ諮りながら、今後の営

形態の見直しの考えは。
問 ② ヒメマスについて、風評被害の払しょくとし網漁業者の後継者育成についてどのように取り組んでいくのか。

答 町長 4年間の採捕自粛の影響により後継者を育成することができず、今までの刺し網漁師も高齢により漁を行うことができなくなっています。そのため、ヒメマスの確保が十分できず、町内流通もままならない状況です。現在、沼沢漁協とヒメマスの

確保並びに安定供給できる体制づくりについて検討しています。この体制が整い次第、町内宿泊施設等で利用促進を図るとともに、今後開催される各種イベントを通じて風評被害の払しょくに当たっていく考えです。また、後継者育成については、刺し網漁の後継者だけにとどまらず、沼沢漁協の将来も見据えて、漁協とともに検討していきます。

問 ③ 6次化の推進についてどのような施策を講じるのか。

答 町長 当町の農産物は品質の良いものが収穫できる一方、生産量がどうしても少ないため、大消費地向けの産地化を図ることは難しいと考えています。したがって、地域の特性ある山間高冷地で生産できる農作物や山菜やキノコ等を生かした少量でも利益が上がる加工商品の開発が不可欠であり、そうした目的に合った加工施設の整備を検討し、地産地消と結びつけた取り組みを展開していきます。

『防犯カメラの設置について』

設置個所について検討していきます

問 最近、犯人の検挙、犯罪の抑止力において防犯カメラの役割が注目されている。個人を監視するため、個人情報保護の観点など、課題もあると思うが、

犯罪の抑止や事件発生時の犯人検挙、行方不明者の捜索などに大きな力を発揮することが期待される。と考えるが、観光地や幹線道路などに防犯カメラを

設置する考えはないか。
答 町長 町民の安全確保、町施設等の管理を行う観点から、防犯カメラの設置は有効な手段であると考えています。なお、防犯カメ

ラに記録された個人の画像は、特定の人物を識別することができない個人情報は、適切な情報管理をすることによって設置個所を検討していきます。



4月16日に行われた沼沢湖ヒメマス解禁記念式典で
振舞われた「ヒメマスの塩焼き」



高橋信彦議員の 一般質問

『どこでヒメマスが食べられるの』

恥ずかしくないよう対応する

問 「ヒメマス漁」が解禁となったが、後継者がいないため漁再開の目的が立っていない。県下唯一の特産品である「ヒメマス」事業に対し、どのような支援をされるのか。

答 町長 ヒメマス漁については、4月9日に解禁となりましたが、4年にわたる採捕自粛の影響によ

り後継者を育成することができず、今までの刺し網漁師についても高齢により漁を廃業してしまいました。そのため、安定的にヒメマスを確保できない状況が続いています。現在、沼沢漁協関係者とヒメマスの確保や後継者対策の取り組みについて検討しているところです。具体的な対策や支援については、

沼沢漁協関係者と今後話めていきます。

問 解禁後1カ月以上たっているわけですが、いまだに町内で食べられるところはありますか。関係者でちよつと言われればありますが。一般の観光客が来て、ヒメマスを食べられるところは、まだ1カ所もありませんので、しっかりと準備をしていただ

きたい。

答 町長 ヒメマスの解禁になって一番心配したのは、ゴールデンウィークなどで金山町を訪れて、「ヒメマスをどこで食べられますか」というお客さんが必ずあると思います。ゴールデンウィークに限っては、道の駅周辺でそれなりの数を確保してやりましたけれども、その後

の対応が足りなく、町として本当に恥ずかしい気持ちです。例えば「道の駅に行けば食べられる」とか、「今度できるせせらぎ荘に行けば食べられる」とか、そういうしつかりした取り組みをしないか、と本当に恥ずかしい話だと思いますので、対応していきたいと思っています。

『せせらぎ荘への交通手段は』

まずは、送迎バスで

問 新しい「せせらぎ荘」は町内観光の中核となる施設であり、町内外からの利用が望まれているが、交通の便が悪い。運営再開に当たり、交通体系の再構築の考えはあるのか。

答 町長 交通の便に関しては、送迎バス等を配備する考えでいます。また、町全体の交通体系の見直

しも含めて温泉巡りができるような交通体系にも手をつけていきたいと思っています。

問 2次交通の試験的な運行もされたかと思いますが、マイカーを持つという方、あるいは観光客で、JRで会津川口駅に来られた方の対応はどのようにしようと、考

えているのか。

答 町長 只見線を利用されて来られた方には2次交通が必要です。交通の一元化というものを考えながら、それも十分考慮しておかなければいけないと思っています。

問 お年寄りの方が気軽にせせらぎ荘にも足を運べる。あるいは、ほかの温

泉にも足を運べるというような、例えば循環バスとか、そういった形のところもぜひとも構築をしていただきたい。

答 町長 ご意見を参考にしながら、役場の庁内でいろいろ検討してみたいと思います。



町長の3つの柱を説明した「町づくり懇談会」

奥高伸議員の 一般質問



『地域包括ケアシステムの確立で安心の町づくりを』

考えは町も同じ

問 急速に進む町の高齢化は、日本でも一、二と言われる。特養等施設入所希望の待機者も多く、高齢者が安心して暮らせる町づくりには「地域包括ケアシステム」の確立が欠かせない。考えは。

答 町長 自助・互助・共助・公助で地域全体を支え合う体制をつくっていくことが極めて重要です。そ

のためには、地域住民と行政、関係機関が地域の目指す姿についての合意形成が不可欠です。医療、介護の24時間、365日対応等、大変難しい問題もありま

すが、地域包括支援センターの強化、本年6月には、町社会福祉協議会に配置しました生活支援コーディネーター、さらには認知

症サポート医、支援チーム、推進員等の整備を予定しています。この地域に合った地域包括ケアシステムの構築を図ります。

問 病院への入院、特養等への入所は本人の経済的負担と共に自治体も大きな財政負担を強いられる。地域包括ケアシステムによって医療介護等の財政

負担は、少なくなると言われているが、どうか。

答 住民課長 必ずしも医師やヘルパー等の24時間の体制、または365日のサービス提供ができないということであったとしても、①地域の支え合いを中心とした見回りの活動②町で予定している各地区での空き家を利用し

た「シェアハウス」的な施設の整備③認知症対策として、「町民全員がサポーターになっていただきたい」という取り組み（27年度からスタート）。これら地域の資源をフルに活用した、金山町独自のシステムをつくり上げていくことも一つの方法（負担軽減）と考えています。

『町長施策の三つの柱、どう実現する』

地域の宝物を磨き上げまちづくりを進めていく

問 町長は三つの柱を捉えての町づくりを述べられた。町づくりを伺う。

①町民の健康づくりについて。空き家を利用した高齢者向けシェアハウス、交通体系の二元化、エゴマによる健康づくり等について。②交流人口の拡大について。沿沢湖周辺の再整備、炭酸水、炭酸温泉の整備、松坂峠癒しの森整備、川口

駅前整備、水力記念館の活用など。

答 町長 地域の宝物を磨き上げていくことによつて、まちづくりを進めていきます。最優先で進めなければならぬのは、県内一進んだ高齢化への対応です。町にとって何よりも大切な宝は町民お一人お一人です。いつまでも元気で町で暮らし続けること

ができるよう、まちづくりの第一の柱には町民の健康づくりを掲げました。また、交流人口の拡大は、より多くの人に実際に来ていただき、その魅力を知っていただくことが町に活気を生み出し、将来の移住・定住にもつながっていくと考えていることから、これを2つ目の柱に掲げ

問 前質問①②の事業等の実施による雇用の確保。どう実現する。

答 町長 町の存続には働く場の確保が不可欠です。町の課題解決に役立つ仕事や、町の資源を有効に活用した仕事を創出すれば、職場の確保と町の魅力向上という相乗効果が発揮できるため、これを3つ目の柱としました。



観光客の絶えない大塩炭酸井戸
新しく完成した駐車場とトイレ

馬場清次議員の 一般質問



『国土調査実施再開は』

問 国土調査の実施は、その必要性について過去に二回にわたり伺ってききました。答弁者は異なっても実施が必要との認識で一致しています。調査休止理由についても同様の答弁、再開できない真の理由は何か、どうすれば再開実施が可能か、再開実施に向けて検討は進んでいるのか、検討内容について伺う。

答 町長 これまでも国

土調査再開については議員の皆様方から質問をいただいているところです。国土調査の必要性については認識していますが、国土調査を再開するに当たっては、専属の職員を複数配置し、チームで推進していくことが必要です。現在、町では急速に進行する少子高齢化への対応や交流人口の拡大対策、町民の安

全・安心を守る取り組みなど、喫緊に対応しなければならぬ課題を数多く抱えており、職員数も限られていることから、複数の専属職員を配置し、国土調査事業を再開することは極めて難しいと考えていますので、ご理解をお願いいたします。

問 わざわざ6月議会で質問したのは、職員の採用

にしる、対策にしる、早い時期から対策しなければいい人材の確保ができないわけです。そういう意味からぜひ取り組んで欲しい、再開して欲しい。別に新規事業を取り組めと言っているわけではないのです。約束（大塩地区）したことを再開して欲しい、それを私は代弁しているのです。それすらできない

のであれば、何の行政だからもう一度答弁願います。

答 町長 議員のおっしゃることはもつともだと思います。今、ここで明確にしておかないと、将来大変な禍根を残すということになるということは十分認識しています。再度精査しながら、前向きに検討していかなければと強く感じた次第です。

事業再開を前向きに検討する

『世界に誇れる炭酸水 どう活用していく』

大学とも連携していく

問 大塩地区に明治初期より現存する炭酸井戸は、町の財産として整備途中ですが、来場者も増加しています。先の伊勢志摩サミットにも製品が利用されています。世界に誇れる炭酸水、町の財産としての様に維持・活用される考えか、今後の整備について伺う。

答 町長 5月末に開催

された伊勢・志摩サミットにおいて、奥会津金山天然炭酸の水が使われたことは、金山町の天然炭酸水を世界に広めるきっかけになるものとうれしく思っています。現在は大塩炭酸水井戸周辺の草刈り、清掃、冬期間の除雪作業について、大塩天然炭酸水保存会に委託し、井戸周辺管理を

お願いしている状況です。また、多くの方に来場していただけるよう国道252号からの入り口付近の公衆トイレ、駐車場等を整備しました。今後も、周辺管理については保存会に委託したいと考えています。炭酸水の今後の活用法については、保存会、(株)ハース等々、これまで以上

により良い活用方法がないか協議していきます。また、ノウハウを持った大学とも連携していきます。2点目の今後の整備については、昨年、既存井戸の水位が異常に低下した経過があることから、今年度、整備費を計上しました。保存会等と協議しながら整備を進めていきます。



「町づくりに思うこと」

金山町の長期人口ビジョンによると、西暦2040年には、金山町の人口は913人と推計されるといわれています。仮に913人としてもその年齢別人口構成がどうなるのが問題です。そこで町では今後4年間、人口減少対策部分を重点に実施すべき内容を町づくり懇談会で示されました。その内容はどれ一つ見ても容易に実現できるものではないと思いますが、例えば小さな町になっても、そこに住む人々の人格が尊重され、生きがいがある人生をおくることができる町にするために努力したいと思っています。

町づくりの主役は名実ともに町民であることは言うまでもありません。議員は主役である町民の皆さんの代弁者でも代理者でもなく、代表者として住民の皆さんの信頼に応えるため、議事機関である議会と行政や財政運営について批判と監視の二つの役割をしっかりと果たさなければならぬと思っています。従って政策の審議に当たっては、あくまでも住民の立場に立って、充分議論し審議を尽くすことが使命であり、物事の善し悪し、その価値や正当性を論じ判定するという批判は議員として当然の責務であるが、非難であるべきではないと思っています。

今、かつてのある政治家の評価が高まっています。それは、卓越した識見と政策形成力があつたからとも言われますが、地方の政治にも、地方分権が進むなかで、住民の声を積極的に議会に反映させるには、住民の声を的確に把握し政策として提案することが重要であるように思っています。また、住民に信頼される行政を実現させるためには、行政監視の面で、職員の厳正な執務を求めることも重視すべきだと考えています。

金山町の町づくりのテーマは「支えあいの町かねやま」です。支え愛は思いやりの心の発露であると思います。相田みつをさんの有名な言葉にもあるように「奪い合えば足りぬ、分け合えば余る」というものです。人の心の財産は他人に分ければ分けるほど元本が増えるといわれます。隣人に心を配り力を合わせ目標の実現に努力したいと思っています。

(横田 正敏)

奥会津五町村の観光事業を勉強 奥会津五町村の議会議長が一堂に会す

7月14日金山町役場において、奥会津五町村議会議長連絡協議会（会長五ノ井清二金山町議長）の勉強会と総会が開催されました。奥会津五町村（柳津町・三島町・昭和村・只見町・金山町）の議長が一堂に会し奥会津振興センターの職員から、管内の観光事業の聞き取りをしました。その中では、只見線の利活用、農商工連携、人材育成、インバウンド、メディア活用PRなどの説明を受けました。



奥会津の観光対策を勉強する五町村の議長

ごあんない

次回の定例会は、9月9日ごろ開会の予定です。

一般質問は9月12日ごろとなります。

お気軽に傍聴においで下さい。

○役場1階の受付で「傍聴券」を受け取り
4階の議場においで下さい。

〔発行責任者〕

議長 五ノ井清二

〔編集委員〕

委員長 馬場 清次

副委員長 黒川 廣志

委員 栗城康太郎

委員 青柳ヨシ子

委員 加藤 賢享

次回、金山議会日より

第195号は、11月上旬ごろ発行の予定です。